

伊方町議会第74回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
清家 慎太郎議員	1 伊方町の自然を活かした体験コンテンツについて	町 長
質問の要旨		
<p>今年4月12日の議員全員協議会にて伊方町観光振興計画（戦略プラン）の案が示されました。</p> <p>その中で特に私の目を引いたものが、世界水準のアクティビティ構想の「佐田岬トレイル」と「海の整備プロジェクト」でありました。</p> <p>その理由といたしましては、そのいずれも伊方町のほとんどを占める海と山を活かせるアクティビティであったからであります。</p> <p>「佐田岬トレイル」に関しましては今年度は伊方町観光振興計画戦略プランでは調査、計画、営業ツール作成段階の予定になっております。</p> <p>伊方町においてトレイルは、新潟県十日町市の「越後まつだい春の陣」のように旧集落道を活かせる取り組みであり、先人が生活で歩いた道を復活させ、それを新たな観光・アクティビティとして活用できる大きな可能性を持った事業であると考えます。</p> <p>次に「海の整備プロジェクト」に関しましては今年度は調査マスタープラン策定を終え検証の段階の予定という事になっております。</p> <p>このプロジェクトは別名海中美術館構想であり、実現すればアジア初となる非常にインパクトの強い事業であります。</p> <p>海中美術館は観光アクティビティ要素だけでなく、温暖化抑制のための海洋生態系による炭素吸収効果、ブルーカーボンの促進、また藻場育成による漁礁効果、そしてダイバーの継続的な観察による生態系の変化の把握にも大きな効果を期待できる事業でもあり、佐田岬の豊かな海の恵みを次の世代に引き継ぐため、私たちの世代が取り組むべき事業の意味合いも大いにあると考えております。</p> <p>いずれもが伊方町の大きな魅力である豊かな自然、海と山を活かせる事業でありますので、体験型観光アイテムの新たな大きな柱として実現に向けて是非取り組んでいただきたい事業であると考えます。</p> <p>質問といたしまして両事業の現左の進行状況と今後の取り組みについてお伺いいたします。</p>		